

設計事務所の事業概要書

1 事務所名称等について

設計事務所名	〇〇建築設計事務所		代表者氏名	茨城 太郎
設計事務所概要 (茨城県内※)	建築士事務所登録番号	第A9999号		
	開設年月日	S H R △年 △月 △日		
電子入札システム	対応・非対応・対応予定(令和 年 (月))			
入札参加者名簿登録番号	4-999999			

※茨城県内で建築士事務所の登録を受けている場合に記入して下さい。

茨城県内で建築士事務所の登録を受けている場合に記入して下さい。

2 指名を希望する分野について

(「希望の有無」はひとつのみ○を付け、「受注可能な業務」は該当する業務の口にレ点を記入して下さい。)

分野	希望の有無	受注可能な業務	条件等
意匠	○	☒ 新築 ☒ 改修 ☒ 解体 ☒ 耐震診断 ☒ 耐震補強 ☐ 電気(注1) ☐ 機械(注1)	・建築士事務所登録をしていること 構造計算ソフト名(注3) 対応可能な構造区分(注4) SRC、RC、S、W
構造		☐ 耐震診断 ☐ 耐震補強	・ ・ 3の「自社における担当者の有無」欄で「電気部門」又は「機械部門」が「有」の場合で、電気設備又は機械設備における単独設計の指名を希望する場合は、希望する業務の口にレ点を記入して下さい。 ※記入例の場合では、「機械部門」の担当者が「無」のため、機械の口にレ点を記入することはできません。
電気		☒ 電気 ☐ 機械(注2)	・特
機械		☒ 機械 ☐ 電気(注2)	3の「自社における担当者の有無」欄で「電気部門」又は「機械部門」が「有」の場合で、電気設備又は機械設備における単独設計の指名を希望する場合は口にレ点を記入して下さい。
その他			・積算等を記入)

注1：自社に「電気部門」又は「機械部門」の担当者がある場合で電気設備又は機械設備における単独設計の指名を希望する場合は希望する業務の口にレ点を記入して下さい。

注2：自社に希望分野以外の「電気部門」又は「機械部門」の担当者がある場合で希望分野以外の電気設備又は機械設備における単独設計の指名を希望する場合は口にレ点を記入して下さい。

注3：自社で構造計算の電算処理を行っている場合(協力事務所への再委託は含まない)には、その構造計算ソフト名を記入のうえ、自社用として使用していることが証明できるもの(利用者証明書等)を添付して下さい。構造計算ソフト名には Super Build/SS7、BUILD.一貫V等を記入して下さい。

注4：設計、診断等において対応可能な構造区分(SRC、RC、S、W等)を記入して下さい。(複数可)

3 部門別担当者について

2の「受注可能な業務」欄の(注1)及び(注2)の内容と整合するようにして下さい。

部門	自社における担当者の有無	協力事務所の有無	協力事務所名
意匠部門	有・無	有・無	
構造部門	有・無	有・無	××構造設計事務所
電気部門	有・無	有・無	
機械部門	有・無	有・無	△△設備設計事務所
その他()	有・無	有・無	

「協力事務所の有無」欄を「有」とした場合には、協力事務所名を記入して下さい。

※自社で1人の方が複数の職種を専門とする場合は、特に専門とする職種のみを有として下さい。

4 賠償責任保険の加入について

保険加入の有無	保険の種類（有の場合は該当する保険の□にシ点を記入して下さい）
☒ 有 ☐ 無	☐ 建築家賠償責任保険：（公社）日本建築家協会
	☒ 建築士事務所賠償責任保険：（一社）日本建築士事務所協会連合会
	☐ 建築士賠償責任保険：（公社）日本建築士会連合会
	☐ 構造設計賠償責任保険：（一社）日本建築構造技術者協会
	☐ 建築設備賠償責任保険：（一社）日本設備設計事務所協会連合会
	☐ その他

※保険に加入している場合は、加入している保険の種類（保険証券等）を添付して下さい。

5 建築CPD（継続能力／職能開発）情報提供制度における学習単位を取得している技術者について

学習単位を取得している技術者の有無	☒ 有（有の場合は下表も記入して下さい） ☐ 無
-------------------	--

技術者氏名	事務所での役職	取得単位数（直近5年度分）
茨城 太郎	代表取締役	60
茨城 花子	所員	60
		合計120単位

※建築CPDの学習単位を取得している全ての技術者を記入して下さい。

※技術者が在籍している場合は、建築CPD実績証明書を添付して下さい。（写しでも可）

証明期間は入札参加者名簿の対象年度の前年度から5年間（令和7年度が対象年度の場合は令和2年度～令和6年度）を対象とします。

6 BIMを活用した設計業務の履行について

BIMソフト名	〇〇〇ソフト
BIMでの履行可能項目	☒ 建築物の外観及び内観（一部）の提示 ☒ 実施設計図書（一般図等）の作成 ☐ 設計条件等と設計図書の整合性の確認 ☐ 基本設計段階における設備計画の検討 ☐ 概算工事費の算出 ☐ 基本設計図書（一部）の作成 ☐ 実施設計図書（詳細図等）の作成
BIMを活用した設計委託業務の受注実績	☒ 有（ ☒ 意匠、 ☐ 構造、 ☐ 電気、 ☐ 機械） ☐ 無

※BIM（Building Information Modeling）とは、コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築することをいいます。

※自社で使用しているBIMソフトがある場合には、そのBIMソフト名を記入して下さい。

※BIMでの履行可能項目については、該当する項目全ての□にシ点を記入して下さい。

※受注実績は、対象年度の前年度から5年間（令和7年度が対象年度の場合は令和2年度～令和6年度）の状況について記入して下さい。